

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタディリーフ		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/2		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小人数、個別対応など、子ども一人ひとりに合わせた柔軟な支援をおこなっている。	・一定の期間は支援担当者を固定化し、活動に慣れていってもらえるように工夫している。 ・支援開始前に職員間で打合せを行い、支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。 ・各利用者の得意としている活動や、苦手な活動を各スタッフで意見を出し合い、その意見を集約し分析する努力をしている。	・医療、福祉機関、学校などと情報収集及び共有をおこない、支援の一貫性を保てるように取り組んでいきたい。 ・管理者によるスタッフ個々の教育（外部研修を含む）を今後も充実していく。
2	学習支援に関しては、高いスキルを持っている。	・豊富な教材や器具、動画などのプログラムを準備している。	・社内外の研修などを強化して、さらなる資質を向上させたい。
3	・職員に保育士、教員、児童支援員が在籍し、発達段階に合わせた支援を実施している。	・創作活動、学習支援、余暇活動など豊富な活動プログラムを提供している。	・創作活動では作品を発表する機会を設けるなどして、子どもたちが活躍できる場を取り入れていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他の福祉サービス事業所との連携が弱く包括的な支援が弱いと感じている。	・他事業所の取り組みを知る機会が少なく、事業所間の横の繋がりが持ちにくいと考えている。 ・各事業所の課題を共有したり、解決策を検討する機会がない。	・連携のルールや情報共有の仕組みを明確化していき、円滑な協力体制を構築できる方法を考えたい。
2	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげることが出来ていない。	外部評価をもらっていない	適切な外部評価ができる公的機関を探す。
3			